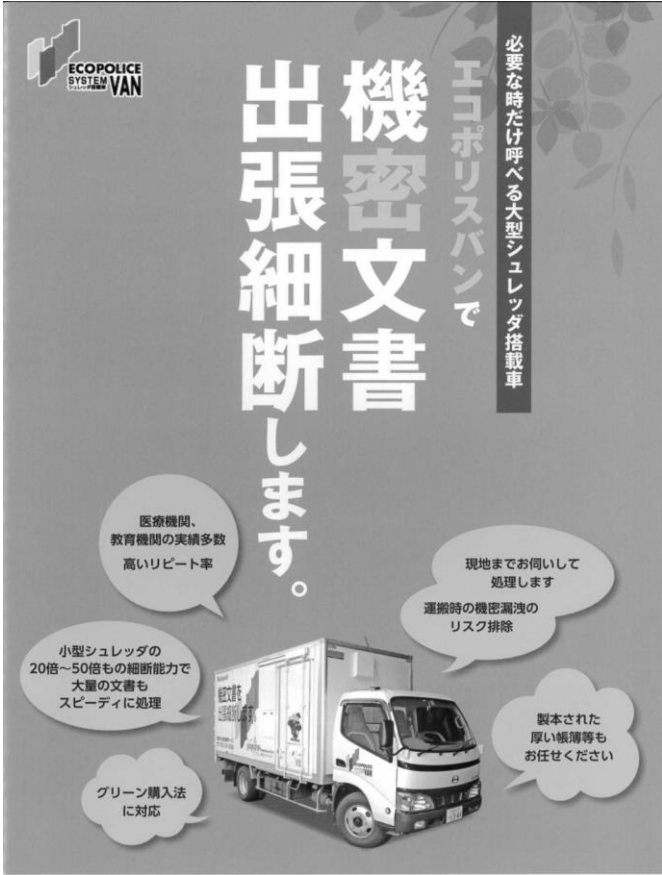


株式会社全日本医療サービス

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



ECOPOLICE SYSTEM VAN

**エコポリスバンで
機密文書
出張細断します。**

必要な時だけ呼べる大型シュレッダ搭載車

医療機関、
教育機関の実績多数
高いリピート率

小型シュレッダの
20倍～50倍もの細断能力で
大量の文書も
スピーディに処理

グリーン購入法
に対応

現地までお伺いして
処理します
運搬時の機密漏洩の
リスク排除

製本された
厚い帳簿等も
お任せください

株式会社 全日本医療サービス

発行日：2024年6月24日

改定日：

目 次

- ① 組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等) [p2]
- ② 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間・次回発行予定日 [p4]
- ③ 環境経営方針 [p5]
- ④ 環境経営目標 [p6]
- ⑤ 環境経営計画 [p7]
- ⑥ 当年度の実績 [p8]
- ⑦ 実績グラフ（これまでの環境負荷等の推移） [p9]
- ⑧ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 [p10]
- ⑨ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反、訴訟等の有無 [p11]
- ⑩ 代表者による全体評価と見直し・指示の結果 [p12]

①組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

- ・ 事業所名 代表者名 株式会社全日本医療サービス 代表取締役 近藤貞夫
- ・ 所在地 本 社 岐阜県岐阜市黒野181番地の1
改田営業所 岐阜県岐阜市東改田再勝289-1
(積替え保管場所 岐阜市東改田再勝288-1)
- ・ 環境管理責任者 《環境管理責任者》 営業課長 松原秀典
及び担当者連絡先 《 担 当 者 》 営業 遠藤潤
TEL : 058-293-1138 FAX : 058-293-1136
- ・ 事業概要 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業
○機密文書・書類の出張細断業
○リネン・クリーニング業
◎岐阜県内の産業廃棄物収集運搬業者で初めて
2014年6月9日に特別管理産業廃棄物の優良事業者認定
- ・ 事業の規模 法人設立 1987年4月1日
資本金 2,400万円
売上高 298百万円（第37期 2023年4月1日から2024年3月31日）

	本 社	改田営業所
従 業 員	5名	4名
延べ床面積	18㎡	300.46㎡ [積替え保管所145.36㎡]
駐 車 場	共有	215㎡

EA21活動従事者は、
全従業員を対象とする。

- ・ 産業廃棄物の積替え保管を行う場所 所在地 ： 岐阜市大字東改田再勝288番1の一部

《保管面積・保管上限》	産業廃棄物（保管面積 13.2㎡ 保管上限 22.3㎡）
面 積：292㎡	特別管理産業廃棄物（保管面積 19.3㎡ 保管上限 37.2㎡）

- ・ 車両保有台数 8台

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬車両	4t保冷車 2台 2t保冷車 3台
機密文書、書類の出張細断車両	シュレッダ搭載車3t車 1台
リネン・クリーニング車両 / その他車両	バン 1台 / 営業車 1台

- ・ 受託した産業廃棄物の収集運搬量 2023年度実績 1,172.5 （単位: t）

特別管理産業廃棄物[処理方法]	1,025.8	産業廃棄物[処理方法]	146.7
・感染性廃棄物[焼却]	1,025.7	・廃プラスチック類[焼却]	144.7
・引火性廃油[焼却]	0.1	・金属くず[破碎・選別]	0.15
		・ガラスくず及び陶磁器くず[破碎・選別]	1.80
		・廃酸[焼却]	0.05
		・廃油[焼却]	0.04

- ・ 機密文書、書類の出張細断(シュレッダ)量 2023年度実績 154.3 （単位: t）

- ・ 処理料金 収集運搬料金は、排出事業者の所在地・量・種類によって異なります。
お気軽に下記までご連絡ください。御見積は無料です。

連絡先 TEL 058-293-1138

・事業の範囲

◎岐阜市 産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業区分	収集運搬(積替え、保管を含む)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良06110001880	令和4年2月22日	令和11年2月21日
《産業廃棄物の種類》				
汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)上記7品目は、石綿含有産業廃棄物を除く。				
《積替え、保管できる産業廃棄物の種類》				
汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)上記7品目は、石綿含有産業廃棄物を除く。				

◎岐阜市 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業区分	収集運搬(積替え、保管を含む)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良06160001880	令和4年2月22日	令和11年2月21日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2品目				
《積替え、保管できる特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2品目				

◎岐阜県 産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02101001880	令和4年6月27日	令和11年5月18日
《産業廃棄物の種類》 汚泥、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)上記4品目は、石綿含有産業廃棄物を除く。 廃油、廃酸、廃アルカリ 以上7種類				

◎岐阜県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02151001880	令和3年7月6日	令和10年6月8日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上 2 種類				

◎愛知県 産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02300001880	平成30年12月12日	令和7年12月11日
《産業廃棄物の種類》				
汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。) 以上7品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)				

◎愛知県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02350001880	平成30年12月12日	令和7年12月11日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上 2 品目				

◎三重県 産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02400001880	令和4年3月28日	令和11年2月21日
《産業廃棄物の種類》 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く。)、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を除く。)以上7種類 ※ガラスくず等とは、「ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず」をいう。				

◎三重県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

《優良認定》

事業範囲	収集運搬(積替え、保管を除く)	許可番号	許可年月日	有効期限
		優良02450001880	令和4年3月28日	令和11年2月21日
《特別管理産業廃棄物の種類》 引火性廃油、感染性産業廃棄物 以上2種類				

②対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間・次回発行予定日

登録事業者名： 株式会社全日本医療サービス

対象事業所： 本社、改田営業所

対象活動： 事業概要のとおり

対象範囲： 対象組織 本社、改田営業所

対象活動内容 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業

○機密文書・書類の出張細断業

○リネン・クリーニング業

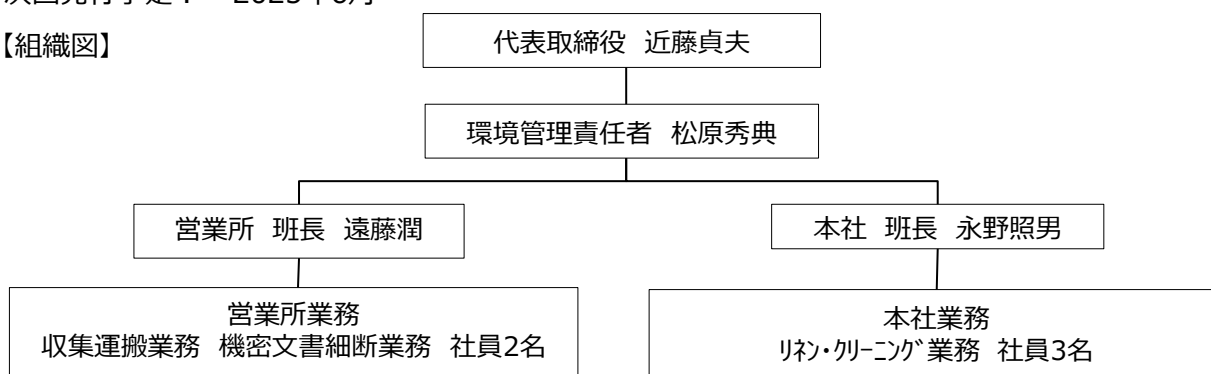
それらは全組織・全活動である

事業年度： 4月～3月

レポート期間（2023年4月1日から2024年3月31日まで1年間）

次回発行予定： 2025年6月

【組織図】



役割・責任・権限

《代表取締役》

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境管理責任者を任命
- ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
- ・環境経営方針の策定、環境目標及び環境活動計画書を承認
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
- ・代表者による全体の評価と見直しを実施

《環境管理責任者》

- ・環境経営システムの構築、実施、管理
- ・環境経営目標、環境経営計画書を承認
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理

《班長》

- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
- ・環境経営の実績集計
- ・環境経営計画の実施及び達成状況報告
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
- ・従業員に対する教育訓練の実施
- ・想定される事故及び緊急事態への対応の為の手順書作成試行訓練を実施、記録作成
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
- ・環境経営レポートの作成、公開

《全従業員》

- ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
- ・決められたことを守り、自主性、積極的に環境活動へ参加

③環境経営方針

環境経営方針

＜環境理念＞

株式会社全日本医療サービスは、環境保全を担う企業であることを認識し、すべての事業活動を通じて環境負荷の低減・再生利用の推進を目指します。

廃棄物の収集運搬業、機密文書の出張細断業、リネン・クリーニング業、すべての業務で環境問題を重視し、地球環境・生活環境の保全に努め地域社会に貢献します。

＜環境保全への行動指針＞

- ① 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
- ② 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③ 水資源の節水
- ④ 一般廃棄物の削減
- ⑤ 受託廃棄物の再生利用推進
- ⑥ 運搬業務中の事故注意喚起
- ⑦ リネン・クリーニング業務の運用管理規定の遵守
- ⑧ 会社周辺の清掃活動

この環境方針は、全ての従業員に周知徹底し、継続的に改善できるように取り組みます。

制定日：2013年3月15日

一次改訂日：2014年3月20日

二次改訂日：2016年4月1日

三次改訂日：2019年4月1日

四次改訂日：2021年9月29日

代表取締役 近藤貞夫

④環境経営目標

2022年度実績を基準値とした、2023年度・2024年度・2025年度の環境経営目標を設定

	基準年	今期目標	年度目標	
	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度
電力の 二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	1,777 (内訳)	1,759 基準年比1%減	1,741 基準年比2%減	1,723 基準年比3%減
	本社 480	本社 475	本社 470	本社 466
	営業所 1,297	営業所 1,284	営業所 1,271	営業所 1,257
自動車燃料の 二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	93,051 (内訳)	92,120 基準年比1%減	91,189 基準年比2%減	90,259 基準年比3%減
	本社 1,334	本社 1,320	本社 1,307	本社 1,294
	営業所 91,717	営業所 90,800	営業所 89,882	営業所 88,965
水使用量削減 (単位：m ³)	69.1 改田営業所のみ 使用量管理	68.4 基準年比1%減	67.7 基準年比2%減	67.0 基準年比3%減
機密文書の 出張細断による 再生利用推進	152t	154t 基準年比1%増	155t 基準年比2%増	156t 基準年比3%増
運搬中の事故注意喚起	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施
リネ・クリーニング業務の 運用管理規定遵守 (白衣・シーツ・衣類など)	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認
社会貢献 会社周辺清掃活動	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理
サービス改善の取組	-	業務を通じて サービス改善の 取組リスト化	業務を通じて サービス改善の 取組リスト化	業務を通じて サービス改善の 取組リスト化

※ 化学物質は使用していません。

・電力の二酸化炭素排出量換算係数

0.388kg-CO₂/kWh (2021年度中部電力ミライズの調整後排出係数)を使用

⑤環境経営計画

(目標達成するための取組)

	年度目標		
	2023度	2024年度	2025年度
電力の 二酸化炭素 排出量削減	空調温度の適正化 (冷房28°暖房20°)	空調温度の適正化 (冷房28°暖房20°)	空調温度の適正化 (冷房28°暖房20°)
	利用状況に応じ照明OFF	利用状況に応じ照明OFF	利用状況に応じ照明OFF
	OA機器の省電力設定	OA機器の省電力設定	OA機器の省電力設定
自動車燃料の 二酸化炭素 排出量削減	作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化	作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化	作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化
	効率的な業務計画	効率的な業務計画	効率的な業務計画
	<u>エコドライブ10の取組</u> ①ふんわりアクセル「eスタート」 ②車間距離にゆとりをもって加速・減速の 少ない運転 ③減速時は早めにアクセル ④エアコンの使用は適切に ⑤ムダなアイドリングはやめる ⑥渋滞を避け余裕をもつ ⑦タイヤ空気圧チェック習慣 ⑧不要な荷物はおろそう ⑨走行の妨げとなる駐車はやめよう ⑩自分の燃費を把握しよう	<u>エコドライブ10の取組</u> ①ふんわりアクセル「eスタート」 ②車間距離にゆとりをもって加速・減速の 少ない運転 ③減速時は早めにアクセル ④エアコンの使用は適切に ⑤ムダなアイドリングはやめる ⑥渋滞を避け余裕をもつ ⑦タイヤ空気圧チェック習慣 ⑧不要な荷物はおろそう ⑨走行の妨げとなる駐車はやめよう ⑩自分の燃費を把握しよう	<u>エコドライブ10の取組</u> ①ふんわりアクセル「eスタート」 ②車間距離にゆとりをもって加速・減速の 少ない運転 ③減速時は早めにアクセル ④エアコンの使用は適切に ⑤ムダなアイドリングはやめる ⑥渋滞を避け余裕をもつ ⑦タイヤ空気圧チェック習慣 ⑧不要な荷物はおろそう ⑨走行の妨げとなる駐車はやめよう ⑩自分の燃費を把握しよう
水使用量削減	節水ポスター掲示	節水ポスター掲示	節水ポスター掲示
	洗車工程見直し	洗車工程見直し	洗車工程見直し
機密文書の 出張細断による 再生利用推進	機密文書の出張細断	機密文書の出張細断	機密文書の出張細断
運転中の 事故注意喚起	教育訓練実施	教育訓練実施	教育訓練実施
リネン・クリーニング業務の 運用管理規定遵守 (白衣・シーツ・衣類など)	運用管理規定遵守確認	運用管理規定遵守確認	運用管理規定遵守確認
社会貢献 会社周辺清掃活動	週1回実施	週1回実施	週1回実施
サービス改善の取組	<u>業務を通じサービス改善リスト化</u> 適正処理による環境負荷の低減、 再生利用推進につなげる	<u>業務を通じサービス改善リスト化</u> 適正処理による環境負荷の低減、 再生利用推進につなげる	<u>業務を通じサービス改善リスト化</u> 適正処理による環境負荷の低減、 再生利用推進につなげる

⑥当年度の実績

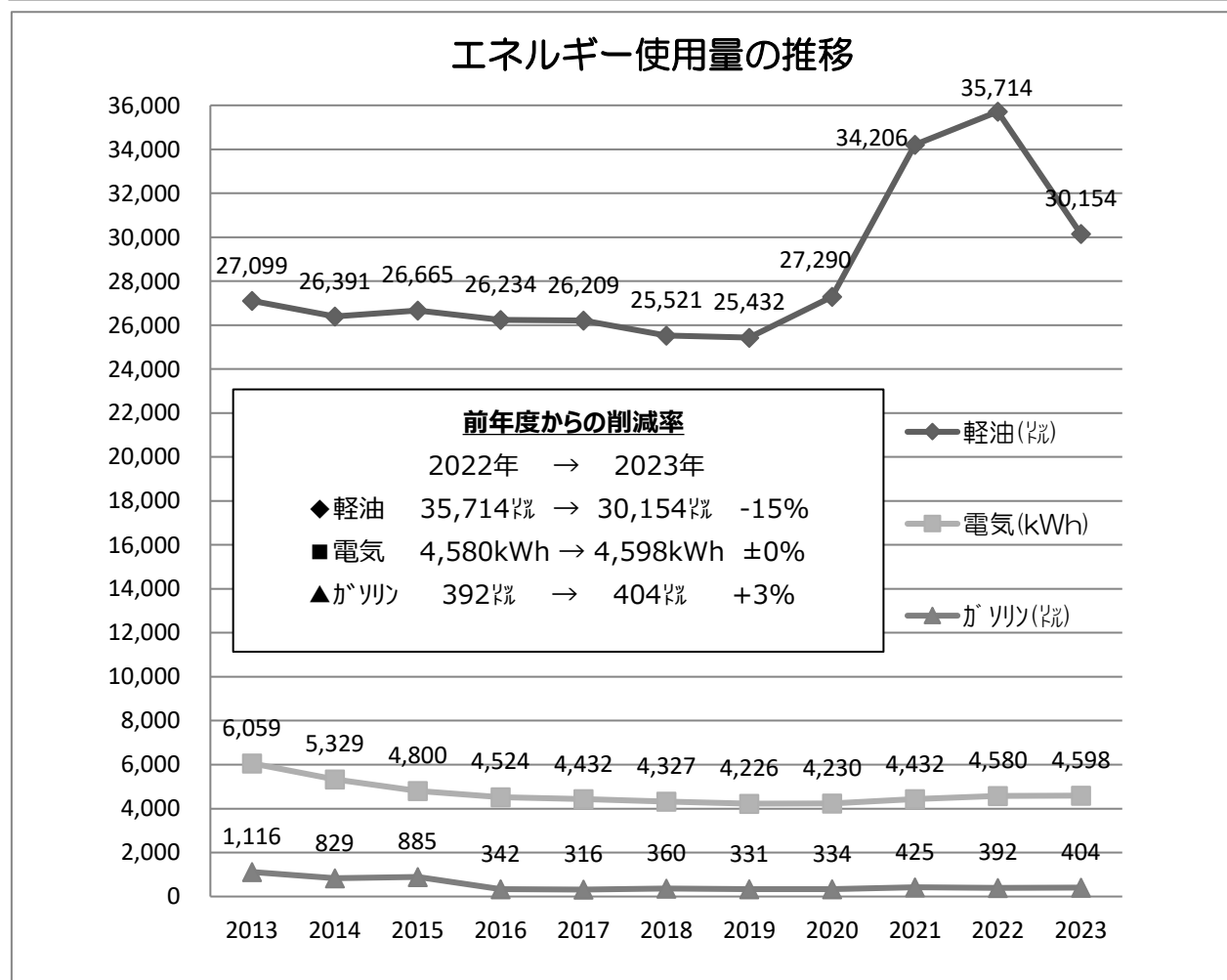
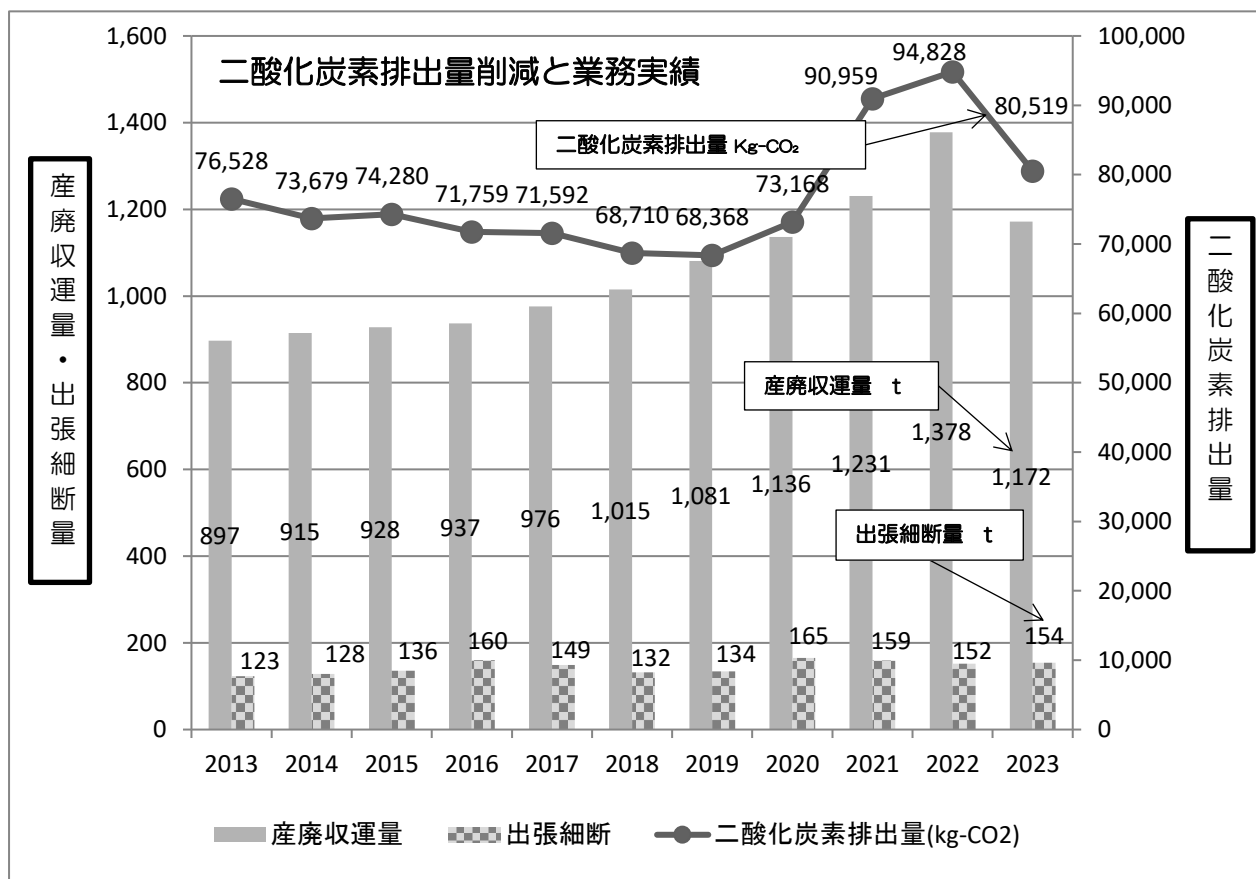
	2023年度	
	目標	実績
電力の 二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	1,759 基準年比 1%減	1,783 基準年比 1%増
	本社 475	本社 518
	営業所 1,284	営業所 1,265
自動車燃料の 二酸化炭素 排出量削減 (単位：kg-CO ₂)	92,120 基準年比 1%減	78,736 基準年比 15%減
	本社 1,320	本社 1,322
	営業所 90,800	営業所 77,414
上記二酸化炭素 排出量合計(単位：kg-CO ₂)	93,879	80,519
水使用量削減 (単位：m ³)	68.4 基準年比 1%減	68.9 基準年比 1%減
機密文書の出張細断による 再生利用推進	154 t 基準年比 1%増	154 t 基準年比 1%増
運搬中の事故注意喚起	緊急事態対応 教育訓練実施	緊急事態対応 教育訓練実施
リネン・クリーニング業務の 運用管理規定遵守 (白衣・シーツ・衣類など)	運用管理規定 遵守確認	運用管理規定 遵守確認
社会貢献 会社周辺清掃活動	週1回実施 記録簿管理	週1回実施 記録簿管理
サービス改善の取組	業務にかかわる サービス改善のリスト化	業務にかかわる サービス改善のリスト化

※ 化学物質は使用していません。

・電力の二酸化炭素排出量換算係数

0.388kg-CO₂/kWh (2021年度中部電力ミライズの調整後排出係数)を使用

⑦実績グラフ これまでの環境負荷等の推移



⑧環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：◎100%達成 ▲～80%達成 ×80%未満

取組状況：○よくできた △あまりできなかった ×できなかった

達成状況	取組み計画	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
▲	電力の二酸化炭素排出量削減		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・空調温度の適正化 （冷房28℃ 暖房20℃）	継続	・業務効率化のため事務作業時間が増え、使用量は1%増加した。空調による電力使用量割合は多いので次年度も引き続き適正化に取り組む。
○	・利用状況に応じ照明ＯＦＦ	継続	・照明の利用を分割できるスイッチの使い分けにより事務所内で適切に照明の利用ができています。次年度も取り組む。
○	・ＯＡ機器の省電力設定	継続	・PCやコピー機を使用する際に、省電力設定の確認ができています。次年度も引き続き取り組む。
◎	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・作業時間、待機時間、 走行距離の短縮化	継続	・ミーティングで情報の共有を行い、それぞれの経験をいかして業務改善につなげている。会計業務の効率化による作業時間の短縮を達成できた。
○	・効率的な業務計画	継続	・広いエリアでの業務予定を効率的に行うため、定期コースの設定見直しを行った。車両をフル活用することで効率的な業務計画につなげた。
○	・エコドライブ10の取組	継続	・業務時間におかれ安全運転が忘れられないように、日々のヒヤリハット経験を共有しエコドライブ10を取り組み続ける糧とした。
◎	水使用量削減		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・節水ポスター掲示	継続	・清潔に衛生的に、無駄のない水使用につなげることができた。
○	・洗車工程の見直し	継続	・自動車燃料の削減により洗車回数も削減でき水使用削減につなげた。
◎	機密文書の出張細断による再生利用推進		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・機密文書の出張細断	継続	・基準年比1%増加で目標達成できた。例年作業量が減る夏場に、継続的に作業依頼を獲得することができた。春先に行った多方面へのチラシ配布により新規顧客からの依頼につながった。
◎	運転中の事故注意喚起		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・教育訓練実施	継続	・安全運転講習会での資料を参考に事故注意について教育訓練を実施できた。近年の事故傾向や、特に注意が必要な具体的な項目について話し合えた。
◎	リネン・クリーニング業務の運用管理規定遵守		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・運用管理規定遵守確認	継続	・リネン・クリーニング作業の運用管理規定を定期的に確認し、洗剤の量や作業の流れなど見直すことができた。安全な運用と環境負荷の低減につなげる。
◎	社会貢献会社周辺清掃活動		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・週1回実施	継続	・朝の業務開始時間に、定期的に清掃活動に取り組むことができた。タバコの吸い殻やポイ捨てごみの清掃活動と、雑草の刈り取り作業に取り組めた。
◎	サービス改善の取組		☑目標維持 ☐下方修正 ☐基準見直し
○	・業務を通じサービス改善につなげる	継続	・今期より「サービス改善の取組」として、業務に関連する問い合わせをいただいた際に、受付から解決までの流れを実績として取りまとめた。処理に困った廃棄物や、いただいた提案に応えられたケースなど、今後も参考にしながらサービス改善につながるよう全員で取り組む。

⑨環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される法規制	該当する要求事項	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)	遵守評価 2024年3月29日
廃棄物処理法	・委託基準 法12条の4 ・保管基準 法12条2項 ・産業廃棄物管理票 法12条3,4,5 ・報告書の提出 法12条3 ・運搬時の表示、 書類携行 則7条の2	【産業廃棄物】 ・収集運搬業 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、（自動車等破砕物を除く。）、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）	○
		【特別管理産業廃棄物】 ・収集運搬業 感染性廃棄物、引火性廃油	
		【積替え保管施設】 改田営業所	
浄化槽法	・第11条	浄化槽使用 (貸主管理会社の管理となるが、使用責任として実施を確認する。)	○
自動車リサイクル法	・第8条 ・第73条	車両購入時にリサイクル料金の支払い	○
道路運送車両法	・第74条	定期点検整備 安全運転管理者選任 運行日誌	○
グリーン購入法	・第5条	環境に配慮した製品の選択	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

・違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に関する法令違反はありません。

関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間なく、訴訟もありません。

⑩代表者による全体評価と見直し・指示の結果

【実施日】

2024年3月29日

【環境管理責任者の報告内容】

- ・取組状況の評価結果
- ・目標、環境経営計画の達成状況
- ・周囲の変化の状況

【見直し、変更の必要性（有・無）】

- ・環境経営方針 変更の必要性（有・☒無）
- ・環境経営目標 変更の必要性（☒有 無）

・今期より基準年を2022年度とした。さらに一般廃棄物削減取り組みを完了したことに伴い、新たに「サービス改善の取組」を開始。業務を通じて処理に困った廃棄物の相談や、問い合わせに対する受付から提案・改善までを実績としてリスト化する。今後の業務改善や、取引先へのより良い業務関係につなげられるよう取組む。

- ・環境経営計画 変更の必要性（☒有 無）

・新しく追加した「サービス改善の取組」については、業務を通じたサービス改善につなげられた事案を実績としてリスト化する。今後の業務に活用し、適正処理の提案により環境負荷の低減や再生利用推進につなげる。
CO₂排出量の9割以上を占める軽油の使用量削減に向けて、自動車燃料の二酸化炭素排出量削減の取組を強化する。今まで続けてきた車両管理・営業日報や業務計画を見つめなおし、短縮化や効率化につなげる。

- ・環境経営システム 変更の必要性（有・☒無）
- ・実施体制 変更の必要性（有・☒無）
- ・その他 変更の必要性（有・☒無）

【代表者による総括】

・2023年度は廃棄物の運搬量が前年比15%減となり、運搬距離も15%減となった。それでもEA21の取組みを始めてから過去3番目に多い運搬量であり、二酸化炭素排出量を削減できたのは、全員が削減目標に取り組めた結果があらわれている。廃棄物の運搬量の増加により、2022年度から運搬車両（4 t 車）を増車して対応していることにより、以前より二酸化炭素排出量は増加している。CO₂排出量の9割以上は軽油使用量によるものであり、業務改善・効率化により削減につなげる。2023年度は、経理の効率化を進め業務改善につなげることができた。小さな改善が業務効率化につながり、軽油使用量の削減と燃費向上につながった。
シュレツダ業務では、前年課題とした夏から秋にかけての業務量伸び悩みをクリアし、年間目標量を達成することができた。
すべての業務において、安全に前向きに全員が仕事に取り組み、結果として環境負荷の低減につなげられるよう努める。